特定非営利活動法人 子育で応援団ひよこ 平成28年度事業報告 (平成28年4月1日~平成29年3月31日)

I運営に関する事項

1. 総会の開催

日時 : 平成28年5月14日 18:30~20:30

名取市市民活動支援センター

2. 理事会の開催

(4月・8月・9月・10月・11月・2月・3月 計7回開催)

- 3. 法人職員体制(平成28年度)
 - (1)子育で応援団ひよこ事務局 事務局長(兼増田児童センター事務員):鈴木 敏浩
 - (2) イベント託児事業

代表 (兼理事): 白川 万喜子 ボランティア登録スタッフ

(3) 児童センター管理運営事業

児童センター運営管理事業統括 : 齋藤 勇介

統括補佐:小野 高宏 ・小林 陽子

<那智が丘児童センター> 指定管理事業

館長(兼副理事長):小林 陽子

主任児童厚生員:1名

児童厚生員:5名 事務員:1名 計8名

<増田児童センター> 指定管理事業

館長兼主任児童厚生員(兼副理事長):小野 高宏 児童厚生員 11名 補助員2名 計14名

(増田児童センター ファミリーサポートセンター スタッフ含む)

<下増田児童センター> 業務委託事業

施設管理者 (兼理事長): 齋藤 勇介

主任児童厚生員:1名

児童厚生員 10名 補助員1名 計13名

Ⅱ特定非営利活動に関する事項

大分類	事 業 名	小分類	事業 内容
1	児童センター運営管理事業	(1)	那智が丘児童センター指定管理事業
		(2)	増田児童センター指定管理事業
		(3)	下増田児童センター業務委託運営事業
2	次世代育成事業	(1)	子育て支援者スキルアップセミナー
3	地域連携事業	(1)	子育てイベント託児
	同 上	(2)	青少年への命の授業
	同 上	(3)	他団体との連携・協力

1. 事業名 : <児童センター運営管理事業>

(1) 那智が丘児童センター指定管理事業

実 施 日:通年実施

*日曜、年末年始(12月29日~1月3日)を除く

① 内容 | 実施場所: 名取市那智が丘児童センター

常勤7名(臨時職員含む)

受益対象者:0歳児から18歳までの児童及びその家族

放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)

② 運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. 子ども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全にすごす・・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

子育てひろば	・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。
(ぴよぴよハウス)	・ 育児についての不安や悩みを共有する。
	月曜日~金曜日 9:00~16:30(祝日、年末年始を除く)
	*年間利用者数は別表1参照。
ファミリー	・市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。
フェスティバル	年間1回
	*高舘保育所子育て支援センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ	・ 親子で一緒に、同じ目線で楽しさを共有できる時間を確保し、心にゆとり
(ぴよぴよシアター)	を持ち、親子が共に楽しむ時間の確保。
	*参加費 無料
	<ぴよぴよシアター>*親子の映画会
	•全3回開催
	・親子が一緒に楽しめる映画を上映
	(おさるのジョージなど)

遊びの広場	・ 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、
「ぴよぴよ広場」	子育ての楽しさを伝えていく。
	工作、クリスマス会など実施。
	年間10回開催。
ぴよぴよファーム	・ 畑作りの活動を通じて、自然と触れ合う経験を促す。
	年間 8回開催
子育て情報誌の発行	・ 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。
「piyopiyo」	・ 毎月1回発行
その他	○保健センター・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業
	・歯科指導:年間 2回実施
	・幼児食 Q&A:年4回
	○高舘保育所・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業
	・リフレッシュ講座:年2回
	・親子で楽しむ:年1回
	・子育て講座:年2回
	〇子ども支援課連携:情報紙「ちいさななかまたち」発行
	・メール配信・ホームページ・ブログを利用しての情報提供



子育てひろば 「親子 de プラレール」



ぴよぴよファーム



運動会



親子 de ヨーガ

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a. 内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成 28 年度放課後児童クラブ登録児童数 33 名。自由来館業務に関しては、登録児童以外の 1 年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

b. 各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
- ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
- ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
- ・ティータイム……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。 ☆その他、折り紙タイムやお茶会など楽しい行事を多数実施。

⑥ 次世代育成支援

育児ボランティア	地域にある大学を中心にした学生ボランティア育成支援	
育成支援	・ 子育て経験者を中心とした育児ボランティアサークルの育成支援	爰

⑦ 地域交流

お話し会	地域のお話しボランティア「お話しポケット」によるお話し会を開催。活動 を通じて子どもたちと地域の方々との交流を図る。 毎月1回開催。
老人保健施設なとり 慰問交流会	学区内にある老人保健施設なとりとの慰問交流。世代間交流を通じて思いやりの心や、やさしい気持ちなど、子どもたちの心の成長を育む年間1回実施
福寿会交流	地域で活動している福寿会との交流。ゲートボールやグラウンドゴルフなど の活動を通じて、地域の世代間交流を図る。 年間1回開催

⑧ 中高生への支援

+You	中高生の居場所作り事業
(プラス ユー)	16:30以降の時間、クラブ室以外のスペースを中高生に開放。
	ボランティアではなく、自分たちの「居場所」として施設の活用を促す。
その他	みどり台中学校共催「命の授業」
	中学3年生を対象に、地域の方々と共に、出産から人生の終焉までを考える。



お話ポケットさん読み聞かせの会



体験:芸術飛行船「釘打ちとんとん」



介護老人保健施設なとり 慰問交流会



老人クラブ「福寿会」交流会



おわりの会 ~1年の活動をスライドで振り返る~



スポーツタイム

⑧ 那智が丘児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	25日	24日	26日	25日	26日	126日
登録児童 (放課後児 童)	505名	464名	515名	472名	407名	2363名
自由来館 (小学生以 上)	3 1 4名	283名	279名	321名	297名	1494名
乳幼児の親子 (サロン利 用)	243名	166名	345名	314名	274名	1342名
行事 クラブ活動	310名	220名	334名	246名	140名	1250名
他団体 地域活動	180名	48名	6 7名	153名	7 3名	521名
合計	1552名	1181名	1540名	1506名	1191名	6970名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	24日	25日	25日	2 3 目	97日
登録児童 (放課後児 童)	479名	493名	447名	436名	1855名
自由来館 (小学生以 上)	246名	226名	255名	321名	1048名
乳幼児の親子 (サロン利 用)	232名	196名	267名	118名	813名
行事 クラブ活動	258名	3 4 2 名	545名	178名	1323名
他団体 地域活動	61名	321名	142名	127名	651名
合計	1276名	1578名	1656名	1180名	5690名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23目	26日	72日	日
登録児童 (放課後児 童)	419名	433名	488名	1340名	5558名
自由来館 (小学生以 上)	230名	234名	376名	840名	3382名
乳幼児の親子 (サロン利 用)	278名	3 4 4 名	276名	898名	3053名
行事 クラブ活動	264名	251名	155名	670名	3243名
他団体 地域活動	15名	8名	46名	6 9名	1241名
合計	1206名	1270名	1341名	3817名	16477名

1日平均利用者数:約56名

(登録児:19名 自由来館児:11名 乳幼児親子:10名 行事等:10名 他団体:4) <1年のまとめ>

・法人として那智が丘児童センターの指定管理運営も4年目を迎え、これまで築いてきた基盤をさらに発展させて、中学生の利用促進や活動への参画など従来小学生の利用施設ととらえられがちであった活動を、児童館本来の機能である0歳から18歳までの児童を対象とした取り組みを地域に周知していくことが出来たように思う。

また、放課後の児童に携わる専門性を高め、「教育者」としてではなく「支援者」として遊びを通じて、こどもの育ちにどうのように寄り添っていくべきかを考えながら取り組んできた1年でもあった。今年度の取り組みをさらに見直し改善しながら着実に事業を行っていくとともに、今後も地域のニーズを把握しながら地域とともに活動の幅を広げていきたいと思う。

(2) 増田児童センター指定管理事業

① 内容・実施日 :年間を通じて実施

※日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)を除く

・実施場所 : 名取市増田児童センター

・従事者: 常勤4名、臨時職員8名、補助員2名

・受益対象者: 0歳児から18歳までの児童及びその家族

放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)

② 運営方針

a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。

- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全などについて体得できるように する。
- c. 個別的、集団的、または異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識 を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. 子ども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ルールを身につける。
 - ・異年齢や地域との交流を深める(思いやり・協調性・地域とのつながりを育む)。
- b. 安全にすごす・・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

『子育てひろば・ぴよぴよハウスinますだ』

地域の開かれた子育で環境として、「日常的に親子が楽しく利用でき、集い、遊べるところ。 ゆったりと過ごせる居場所。子育でに関する様々な情報交換の場。」を設定しています。 基本的に増田児童センター全室利用可(時間帯やセンターの状況により変更あり)

月曜日~金曜日 9:00~17:00

活動名	内容・開催日・場所・回数等	ねらい
ホールDEあそぼうDAY	・隔月1回程度 (10:30~11:30) ・親子ふれあい遊び、集団遊び、児 童文化財鑑賞など	・親子での活動を通じて、親 子同士や地域の様々な関係 とのコミュニケーションを
工作あそぼうDAY	・隔月1回程度 (10:30~11:30) ・簡単な工作の紹介	図る。 ・様々な活動を通し、子ども
赤ちゃんのひろば	・11月、2月・申込制・1歳未満のお子さんを対象	の成長を見守る関係づくりを図る。

赤ちゃんの~	つどい	・月1回	・遊びの紹介、伝承を行う。
		事前申し込みなし1歳前半までのお子さんを対象	・親同士の交流を図りながら、
双子ちゃんの	の広場・つどい	•年3回程度	子育ての不安を軽減する。
幼児食 Q&A		・年4回(那智が丘と共催) ・ 保健センター	・育児についての情報交換
歯みがき指導		・年2回程度(那智が丘と共催)・那智が丘、増田	・育児に関連する情報の提供 ・保健センターとの連携を図 る
コッコの時	間	・不定期・簡単な手芸、スポーツ、クッキングなど。利用者からのリクエストを聞きながら内容を検討していく。	・大人中心の活動の中で育児 リフレッシュ、コミュニケ ーションを図る。
ぴよぴよガー	ーデン	・月1回程度・簡単なガーデニングを行う。	・自然と触れ合い、それらの 大切さ、楽しさ、奥深さを 体験する。
ぴよっ!と	タイム	・不定期・メール配信でのみお知らせ	・季節などに応じた活動を楽 しむ
育児相談 (もしもし子育て110番)		・月~金(9:00~17:00)・電話相談、来所・サロンでの相談を受け付ける	・育児に不安や悩みを持つ親などから電話や面接を通じて相談を受け、話を聞いたり問題解決へのアドバイス等をしたりすることで、子育て支援の一環を担う。 ・必要な場合は関係機関への橋渡し、情報提供を行う。
	サークル情報管理	・年度ごとに、サークル登録用紙を 提出してもらう。・メールアドレス登録(代表者)	・市内へのサークル情報発信。 ・高舘と共通で情報を管理し、 入会希望者をサークル代表 とつなぐ。
サークル 支援・育成	子育てサークルの遊 びのお手伝い	・各サークルにつき年2回 ・各活動場所にて各地域の児童センター職員が対応する。 ・物品貸出等、児童センターへのサポートを行う。	・サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。・遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。
	サークル代表への遊 びの提供 (サークルサークル 会)	・年5回(全体3回、地域毎2回) ・増田児童センター、高舘あおぞら 子育て支援センター	・サークル同士の交流、情報交換を図る。
	サークル交流運動会 自主サークル結成の お手伝い	・年1回 10月13日・名取市体育館・要請に応じて	・ボランティアとの交流を図 る。

)) . —	- H o H	N. 4. L Y. A. 3# 47 1
	メイクアップ講座	•5月9日	・他参加者や講師とのコミュ
)	7 8 6 8	ニケーションをリフレッシ
本旧 継成	ノーム芳賀さん講演	・7月6日	ュや育児不安の解消のきっ
育児講座	₩ A ₩ A ## ##	・那智が丘児童センター	かけにしてもらう。 ・発達や、救急法等に関して
	救命救急講座	• 9月28日	
	7 2 1 22 2 2 2 2 2	• 名取市消防本部	の専門的な講話をきき、育
	そらとぶクレヨン	•11月11日	児に役立ててもらう。
	講演	• 名取市文化会館	7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	ファミリー	· 年 1 回 3 月 7 日	・各子育て支援拠点施設を利
	フェスティバル	• 名取市体育館	用している親子、これから
			利用する親子の交流や情報
	なとりっこ	・年1回 10月29日	の共有を図る。
	to the same	• 名取市文化会館	・市内の子育て支援に携わる
88 85 4W 88	保健センター	• 年 9 回	人を知ってもらい、より良し
関係機関	「遊びのひろば」	• 5, 6, 8, 9, 10, 11, 1	い支援活動に繋げていく。
連携・支援	h	2、1、3月	
	個別ケースの	・子育て支援包括支援センターとの	・妊娠時から出産以降まで切
	情報交換	情報交換	れ目のない子育て支援のた
		・遊びの広場終了後に開催	めに情報交換を行う。
			・支援センター利用者への適
			切な支援に向けて連携を図
	n n		る。
	ボランティアグルー	・遊びの支援、育児講座、サークル	・子育てに関わる機関と情報
	プ・ボランティア連	支援等に関わってもらう。	交換を行い、一貫した活動
	絡会との連携		が行えるようにする。
	ちいさななかまたち	・年2回発行	・子どもとの接し方、遊び方
			を保護者へ知らせる。
			・在園時、家庭保育児それぞ
			れに役立つような内容の記
			事を発行。
	ぴよぴよ通信の発行	・月1回	・育児に役立ててもらえるよ
			う、子育てに関する各種情報
	2. 44 .45 74 7		の提供をしていく。
その他	あそびうたのコンサ		・行事の告知、子育ての情報
	ート、人形劇鑑賞、		発信。
	子育でに関わる講座		
	の開催等、子育てイ		
	ベントの開催。		

☆子育て支援の様子☆



「てるてるぼうずづくり」



「オカン祭」~ママ達のスマイルフェスタ~



パパ&ママお楽しみDAY



ママ共催「ヘアーアレンジ講座」



コッコの時間「チョコっとおかしづくり」



きめきき会

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a. 内容: 児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。 平成28年度放課後児童クラブ登録児童数は、1年36名、2年31名、3年16名、 4年11名、5年4名、合計98名(平成29年3月31日現在登録数)。 自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生・ 高校生。

b. 各種活動行事

- ◎各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ◎工作タイム……身近な材料や廃材などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
- ◎きりえタイム……カッターの使い方を知り、ステンドグラスのような素敵な作品を 作る。
- ◎スポーツタイム…ドッジビーやユニホックなど、先生の指導を受けながら楽しく元 気に体を動かす。
- ◎けん玉タイム…先生と一緒にゲームなどまじえながら、いろんな技に挑戦。
- ◎お話しタイム……地域の方による絵本・手作り紙芝居などの読み聞かせの時間。
- ◎午後の喫茶店……手作りおやつを喫茶店の雰囲気で、みんなで楽しくいただく時間。☆その他,、ぬり絵タイム、一輪車検定、子どもバザーなど実施。

⑥ファミリーサポートセンター

- ◎「育児のお手伝いをしてほしい方(利用会員)」と「育児のお手伝いをしたい方(協力会員)」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織・有償のボランティア活動。
- ◎利用のしくみ・・・利用するためには、会員登録が必要。

援助を受けたい方(利用会員)、援助を行いたい方(協力会員)は センターに申し込むことによって会員となる。援助を受けることと 行うことの両方を希望する場合には、両方会員になることもできる。

⑦地域交流など

◎ (震災復興支援) 「日本フィル金管五重奏コンサート/女子美術大学による

工作ワークショップ」【8月28日(日)増田児童センター内】

被災地に音楽を送り続ける日本フィルの活動と工作ワークショップを組み合わせた企画。 主催…日本フィルハーモニー交響楽団、協賛…三菱UFJニコス、協力…女子美術大学 ヒーリング表現領域

共催…名取市健康福祉部こども支援課・NPO子育て応援団ひよこ

◎ (震災復興支援)「神戸の大学生ボランティアチームの企画による縁日イベント」 【8月29日(月) 増田児童センター敷地内】

大学生が主となって、祭りを企画。児童は各コーナーをまわって学生と交流。毎年恒例となっている。事業実施団体…神戸市社会福祉協議会、共催…大学コンソーシアムひょうご神戸。

◎ (児童センター行事) 「交流七草がゆの会」

【平成29年1月6日(金)増田児童センター】

地域でお世話になっているボランティアの方々を招待して、室内外で、正月遊びを行い その後おやつの時間に七草がゆ会食を行い交流を図る。

☆学童の様子☆







けん玉タイム スポーツタイム コマまわし遊び







遠足「縄文の森広場」 午後の喫茶店 七草がゆの会

⑧増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	26日	23日	26日	26日	27日	128日
登録児童	1655名	1636名	1892名	1700名	1353名	8236名
(放課後児						
童)						
自由来館	1131名	1186名	1302名	1358名	998名	5975名
(小学生以						
上)						
乳幼児親子	519名	448名	694名	742名	425名	2828名
行事	350名	455名	645名	752名	542名	2744名
合計	3655名	3725名	4533名	4552名	3318名	19783名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	25日	27日	26日	23日	101日
登録児童	1679名	1659名	1731名	1534名	6603名
(放課後児					
童)					
自由来館	1177名	1333名	1269名	1014名	4793名
(小学生以					
上)					
乳幼児親子	521名	570名	674名	376名	2141名
行事	907名	1183名	539名	529名	3158名
合計	4284名	4745名	4213名	3453名	16695名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	27日	7 3 日	302日
登録児童	1550名	1503名	1635名	4688名	19527名
(放課後児					
童)					
自由来館	969名	974名	1077名	3020名	13788名
(小学生以					
上)					
乳幼児親子	482名	512名	559名	1553名	6522名
行事	413名	504名	349名	1266名	7168名
合計	3414名	3493名	3620名	10527名	47005名

1日平均利用者数:約156名

(登録児:65名、自由来館児:46名、乳幼児親子:22名、行事等:24名)

1. 会員数について〈平成29年3月末現在〉

利 用 会 員	490人
協力会員	131人
両 方 会 員	5 2 人
合 計	673人

2活動状況について〈平成28年4月~平成29年3月〉

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	8 回
保育所・幼稚園の送り	105 回
保育所・幼稚園の迎え	542 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	521 回
学童の放課後の預かり	101 回
放課後児童クラブの迎え	174 回
放課後児童クラブ終了後の預かり	169 回
子供の病気時の援助	7 回
子供の習い事等の場合の援助	198 回
保育所・学校等休み時の援助	84 回
保育所等施設入所前の援助	0 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	15 回
保護者等の求職活動中の援助	0 回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	3 回
保護者等の外出の場合の援助	48 回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0 回
保護者等の家事、用事、リフレッシュ等の援助	88 回
その他	2 回
合 計	2065 回

⑨1年のまとめ

ぴよぴよハウスは、利用者さんとの日常の関わりを大切にすることの積み重ねから関係性が深まり、それが、形に現れてきたことを感じる。利用者の方から、「やってみたいこと」の要望をいただくことが増えたり、転勤などで引越す際には、挨拶に来ていただくことが増えたり、担当以外の職員とも気軽に話せるようになったりしている。イベントの面では、今年度初めての試みで、ママ達による企画を主旨としたフェスティバル「オカン祭」を開催した。話し合いや準備を進めていく上での課題はいくつかあったが、当日はママたちが生き生きと楽しんでいたので、今後も改善・発展しながら続けていけるようママ達をサポートしていきたい。

学童では、6月に放課後児童クラブ員専用の建物(なかよしハウス)が完成し、7月から利用を開始したことで、職員の動きや体制・役割などが変わった部分もあり、環境設定などの準備にも追われたりしたが、大きな混乱はなく、職員間で連携をとりながらすすめていくことができたと思う。また、建物ができたことで、放課後児童クラブの学童はもちろんのこと、自由来館児童の居場所スペースも以前よりは確保され、ゆとりができたように感じる。増設したことによって、児童センターがさらにより良い環境になるよう工夫していきたい。また、日常を大切にしながらも小学生が楽しめるイベントの企画も新たに検討していく。特に地域も巻き込んでいけるような、外へ発信していく形のイベントも取り組んでいければと思う。

ファミリーサポートは、今年度も担当同士で連携をとりつつ、他の職員にも協力を得て業務をすすめていくことができたと思う。挨拶まわり・広報等の小さな積み重ねの継続や交流会のやり方を工夫しながら、協力会員の増員にもつなげていきたい。

今年度は、放課後児童クラブ専用の建物が増設されたことが、大きな変化であった。特に増設工事中は、危険や制限がたくさんある中、地域・利用者の方、小学校などに協力もいただきながらも職員みんなで連携をとって、乗り越えていくことができたと思う。今後も児童センターのあり方として、乳幼児親子・小学生・中高生との交流のしかたもさまざまな角度から検討し、「交流事業」や「日常での自然な関わり」を目指した環境設定などにつなげていきたい。

3. 事業名 : <下増田児童センター業務委託運営事業>

(1) 下増田児童センター業務委託運営事業

「実施日 : 年間を通じて実施

*日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)を除く

実施場所 : 名取市下増田児童センター

① 内容 (従事者 : 常勤 1 1 名 (臨時職員含む)、補助員 2 名 (長期休みやイベント

時など)

受益対象者: 0歳児から18歳までの児童及びその家族

放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)

*施設改修工事完了後の平成29年1月より、自由来館児童の受け入れ

を開始している

②運営方針

a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。

- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

活動名	内容・開催日・場所・	ねらい
	回数等	
ぴよぴよひろば		・親子での活動を通じて、親子同士や地域の様々
・月に1回程度開催		な関係とのコミュニケーションを図る。
$(10:30\sim11:30)$		・同じ学年の子どもを持つ保護者同士の繋がり
・親子ふれあい遊び、集団遊び、工作、!	児童文化財鑑賞など	をつくり就学後の関係づくりに活かしてい
		< 。
		・様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関
		係づくりを図る。
		・遊びの紹介、伝承を行う。

保護者支援「コッコタイ・年6回開催 ・育児リフレッシュや保 場として、保護者目線で 交えながらながら和やか	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 ・育児リフレッシュ、大人同士のコミュニケーションを図る場を持つ。 ・大人も子どもも、様々な経験をすることにより、知識を深め、楽しみながら充実した遊びの環境を皆で作り上げる。それにより、おもちゃを大切に使う気持ちを育む。 ・悩みや思いを出し合い、それらを共有することでお互いを理解しあう場を持ち、考え進む機会を得る。 ・子ども達におもちゃを通しての様々な経験を提供出来る環境作り。 	
ぴよぴよ農園 ・随時 ・児童センター内の畑を 収穫する、食べてみる ・農作物に関することで ・食育の場	。 」という農作業体	 ・土や自然とふれあい、それらの大切さ、楽しさ、奥深さ等を体験する。 ・育児リフレッシュ。 ・農作業の基礎を知り、自然の営みと生活との関わりを知る ・「育てる」「育つ」・・・という意味合いを親子共々、体得する。 	
幼児食 Q&A ・年 4 回開催 ・ 1 歳~ 1 歳半を対象。		・保健センターとの連携を図りながら、育児中の疑問などを気軽に質問できる関係をつくる。 ・発達に応じた、専門的な知識を聞く機会を設ける(那智が丘・増田との共催)	
歯みがき指導		・年2回程度開催。 ・0~1歳、1歳半 ~を対象。	
育児相談 (もしもし子育て110)番)	・月~金・電話相談、来所・サロンでの相談・H28年度の相談件数8件	・育児に不安や悩みを持つ親などから電話や面接を通じて相談を受け、話を聞いたり問題解決へのアドバイス等をし、子育て支援の一環を担う。
サークル支援・育成	ルの遊びのお 手伝い サークル代表 への遊びの提 供 (サークルサ ークル会) サークル交流	 ・各サークルにつき年2回 ・各活動場所にて ・年5回開催 ・増田児童センター ・年1回 10月1 	 ・サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。 ・遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。 ・サークル同士の交流を図る。 ・活動拠点の児童センター職員との繋がりをつくる。
	運動会	3日 •名取市体育館	

	自主サークル	・要請に応じて	
	結成のお手伝		
	V		
育児講座	メイクアップ	•5月9日	・他参加者や講師とのコミュニケーションをリ
	講座		フレッシュや育児不安の解消のきっかけにし
	ノーム芳賀さ	•7月6日	てもらう。
	ん講演	・那智が丘児童セン	・発達や、救急法等に関しての専門的な講話を
		ター	きき、育児に役立ててもらう。
	救命救急講座	・ 9 月 28 日	
		• 名取市消防本部	
	そらとぶクレ	•11月11日	
	ヨン講演	• 名取市文化会館	
	ファミリーフェ	•	・各センターを利用している親子、これから利
	・年1回開催(3/10)	用する親子の交流や情報の共有を図る。
	• 名取市体育館		
			・市内の子育て支援に携わる人を知ってもらい、
			より良い支援活動に繋げていく。
	なとりっこ	・年1回(10/29	・子育てに関わる機関と情報交換を行い、一貫
	などりつこ	(十))	した活動を行う。
関係機関		(エ)) ・名取文化会館	
連携・支援	保健センター	・ 右 収 又 化 云 郎・ 年 9 回	
	「遊びのひろ		
	ばしばし	10, 11,	
	(4)	10、11、 12、1、3月	
		12, 1, 37	
	ちいさななか	年1回発行	● ・育児に役立ててもらえるよう、子育てに関す。
	またち	一个工匠光门	る各種情報の提供。
その他	ぴよぴよ通信	月1回	・行事の告知、子育ての情報発信。
المار عن المار	の発行	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	14.4. × HVM. 1.13.6.× 113.18×51H0
	たまごタイム	週1回(15分程)	・児童センター職員による絵本の読み聞かせや
		度)	体操など、楽しみながらこどもたちとの関わ
		·~ ~/	りや子育てに対するアドバイスを実施する。
			・担当だけでなく、センター職員との交流を促

☆子育て支援の様子☆



ぴよぴよひろば

ハロウィン



お月見お団子パーティー



お茶っこのみの会



宮城学院大学サークル 「おもちゃばこ」公演



クリスマス会

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成 28年度下増田放課後児童クラブ136名。(平成29年3月末日登録現在) 自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及 び中学生、高校生

*平成28年度については、年度内に施設改修工事が実施されていたため、 改修工事完了後の平成29年1月より、自由来館の受入れを開始している。

b. 各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
- ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
- ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
- ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
- ・ティータイム……簡単なおやつを作ってみんなと楽しく食べる。

☆その他、ぬりえコンクールやチャレランなど楽しい行事を多数実施。

☆学童の様子☆



けん玉タイム





スポーツタイム



ティータイム

しもリンピック



昔話語りの会



プレーパーク

⑥ 下増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	22日	20日	23日	2 1 日	23日	109日
登録児童	2264名	2200名	2667名	2420名	2097名	11648名
(放課後児						
童)						
自由来館	246名			455名	855名	1556名
(小学生以						
上)						
乳幼児親子	507名	248名	678名	487名	100名	2020名
行事	757名	433名	766名	723名	496名	3175名
合計	3774名	2881名	4111名	4085名	3548名	18399名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	20日	2 1 日	19日	19日	79日
登録児童	2373名	2335名	2140名	2064名	8912名
(放課後児					
童)					
自由来館				93名	93名
(小学生以					
上)					
乳幼児親子	574名	513名	410名	373名	1870名
行事	542名	785名	563名	745名	2635名
合計	3489名	3633名	3113名	3275名	13510名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	20日	20日	23日	63目	251日
登録児童	1876名	2034名	2160名	6070名	26630名
(放課後児					
童)					
自由来館	309名	268名	609名	1186名	2835名
(小学生以					
上)					
乳幼児親子	421名	629名	492名	1542名	5432名
行事	507名	351名	1250名	2108名	7918名
合計	3113名	3282名	4511名	10906名	42815名

1日平均利用者数:約171名

(登録児:106名、自由来館:11名、乳幼児親子:22名、行事等:32名)

⑦ 1年のまとめ

下増田児童センターとして新たなスタートとなった1年。放課後児童クラブのニーズが市内でも高い地域である中で、旧下増田幼稚園の園舎を児童センターとして新たに活用していくために必要な改修工事が事業と並行しておこなわれていたりと、環境面で日々工夫をしながらこどもの育ちに必要な取り組みを実施し、児童センター活動の土台を築いてきた。改修工事も終了し、平成29年1月より自由来館の受入れもスタートしたので、今後は、地域の中で0歳から18歳までのつながりある切れ目のない支援を目指して、また、教育者ではない「支援者」という立ち位置でどう児童やその保護者に寄り添っていくことが出来るのか、しっかりと考えながらより良い児童センター活動を実施していく。

2. 次世代育成事業

(1) 子育て支援者スキルアップセミナー

「法人設立5周年記念講演~こどもたちの「遊び」「居場所」~&交流会 記念講演講師:渡部 達也 氏(NPO法人ゆめ・まち・ねっと代表)

日時: 平成29年1月21日 18:45~21:00

会場: 名取市文化会館 小ホール

参加人数:53名

成果・課題

職員及び連携機関・団体とともにこどもの育ちに関する問題意識を共有しすることが出来、講師や NPO 関係者、児童館関係者、子育て支援者同士の連携を深め、より良い子育ての環境をともに考え活動していくための基盤形成にもつながっている。法人の取り組みや考えを発信する良い機会にもなっている。

3. 地域の連携事業

(1) 子育てイベント託児

①実績

依頼先・催事名	回数	ボランティア人数計
(公的託児)		
子育てひろば行事	1 0	2 4
市内公民館講座	9	5 2
名取市保育所ガイダンス	1	3
保健センターレディース健診	1	6
名取市 市民のつどい	1	3
新入学説明会	5	1 3
心の健康づくり	1	5
合計	2 8	106
(民間託児)		
ヨガサークル	6	1 2
こころん	3	9
尚絅幼稚園	6	2 5
男女協働参画事業	7	1 9
美田園わかば幼稚園	1 9	3 8
合計	4 1	1 0 3
総計	6 9	2 0 9

(2) 青少年への命の授業(全3回実施)

地域の方々と中学生を対象として、「心と命をつなぐ大切さ」を考え、共に体験する時間をもつことで、地域の世代を越えたふれあいの場を提供する。

- ・対象 みどり台中学校3年生
- ・場所 みどり台中学校 体育館
- ・協力機関 仙台ターミナルケアを考える会 仙台人権擁護委員会名取 名取市西部地区民生員児童委員協議会 脳キラッとなとり みどり台中学校学区地域協力者

(3) 他団体との連携・協力

①内容

県内外の子育て支援を目的とする支援団体へ、協力団体として活動協力を実施(会場の設定、広報活動、講師派遣、ボランティアスタッフとして活動協力実施)

① 実績

- ・ママインターン事業 職場体験受入れ協力
- ・わらべうたベビーマッサージin石巻 団体協力
- ・宮城県子育てサポーター・サポーターリーダー養成講座 講師
- ・名取市子育てサポーター養成講座関係 講師
- ・高知県子育て支援センター現任者研修 講師
- ・岩沼市子育て応援者養成講座 講師
- ・石巻市父子手帳作成委員会 オブザーバー
- ・親学習プログラム関係 講師
- ・のびすく仙台 パパサロン講師
- ・名取市保健センター もぐもぐセミナー講師
- 名取市内公民館講座 講師
- ・幼稚園・児童館・保育園・市民センター 子育で講座・育児講座 講師 (古城幼稚園・東長町児童館・加茂市民センター・八乙女保育所等)

② 成果·課題

取り組みを通じて法人の活動や、こどもたちの育ちに関わる想いを地域に伝えつつ、他団体との連携を深めていくことで児童センター事業をはじめとする他の事業での活動にもつながっており、行政や他団体との信頼関係を構築し活動の幅に広がりが出来たと感じる。講演など活動を通じて、法人の理念や取り組みなどをきちんと伝わるように考えることで、取り組みを振り返り、次の活動へと活かしていくことにつながったように感じている。

Ⅲ 1年のまとめ

法人として事業を開始から6年目を迎え、設立当初に比べ事業の幅も広がっている。法人の職員として業務に取り組むスタッフも増えてきた。そんな中で、ボランティアとして活動に携わってきたスタッフと、職員として事業に取り組むスタッフの取り組みに対して歩む速度の違いも感じられるようになった。法人の理念を再確認し、事業の見直しを図りながら基盤を強化し、実施する1つ1つの事業の充実を図っていく上でも、お互いの立ち位置、取り組み方を尊重し、また職員として取り組むスタッフはさらに専門性を高めて取り組んでいく。